

尾道郷心会

— 会員様の笑顔をつくりたい —

KYOSHINKAI
ONOMICHI

No.53

尾道郷心会 活動報告

尾道郷心会では新型コロナウイルスの感染拡大防止を進めつつ、少しでも会員様へのお役立ちができるよう以下のような取り組みを推進してまいりました。これからも皆様のご協力をいただきたく何卒よろしくお願いたします。

【デジタル化の推進】

1. 郷心会ホームページのリニューアルと会員専用サイト立ち上げ
会員専用サイトでは郷心会イベント情報および会員企業様のデジタルチラシの掲載などを進めています。デジタルチラシの掲載については事務局までお気軽にご相談ください。

2. Eメール・Facebookでの情報発信
会員様へのイベント情報などご連絡手段として従来のFAXに変え、EメールとSNSの活用を推進しております。Eメールアドレスのご登録、Facebookの友達申請がお済みない会員様は是非ともご登録をお願いします。(Facebook上で尾道郷心会を検索)

【分散化の推進】

1. 会員交流イベントの分散会場
県内のスポーツ観戦や文化芸術イベントの鑑賞などでは会員様のご都合に合わせて手段で会場していただく分散会場型でイベントを実施しております。

2. 会員企業間による分散型互助企画
昨年度に続き互助企画を実施させていたたくと共に、本年度は会員様の嗜好に合わせて会員企業様の各店舗等へご来店いただく形での運用へ変更を予定いたしております。

3. マツダ車販売の分散型ご紹介
会員企業様へ訪問し車両展示会を実施していましたが、残念ながら昨年本年と実施できておりません。一部の会員企業様にはカタログラックを設置させていただき、カタログと尾道郷心会広報誌により最新の情報をお届けする活動をスタートいたしました。



尾道郷心会事務局から望む尾道水道

「ショールームでお待ちしております」

アンフィニ広島 東尾道店
平川 祐さん サービス担当 係長



RE(ロータリーエンジン)のスポーツカーに憧れて整備士になりました。現場の仕事を通じ、新人研修で学んだ「お客様の幸せ」最終的に自分の幸せの意味を実感として噛み締めています。独自路線を行うマツダのクルマ作り、お客様もこの「クルマが好きだ」とハッキリした方が多いように思います。整備のために預かりしているクルマは、そのままお客様の命に直結しますので、整備士は「医者なんだ」と責任感を持ち、クルマという「身体」と日々向き合っています！



尾道市東尾道19-9
TEL: (0848) 46-3500
営業時間: 9時~18時
定休日: 毎週火曜・第2水曜日



アンフィニ広島
東尾道店様URL

広島マツダ 尾道山波店
石田 晃久さん 販売グループ 係長



子供の頃からずっとマツダ車に囲まれて育ちました。大人になって自分がこの業界に入り、よりマツダ車の魅力を感じるようになりました。マツダは「こうだ！」と決めた技術を一つ一つ辛抱深く掘り下げ開発に反映させているので「このクルマが欲しい」という意志でご来店下さるお客様が増えていきます。納車後も「これにしてよかった」という感想を聞くと本当に嬉しいです。話題の限定車なども展示しているので個人的な実車を見て即「これにします」というお客様もおられるんですよ。是非実際に見て触れて、その魅力を体感ください！



広島マツダ
尾道山波店様URL

発行：尾道郷心会 / 尾道市土堂2-10-3 尾道商工会議所ビル内
TEL (0848) 22-9369 e-mail: onokyo@mazda.co.jp
撮影・制作：村上アーカイブス 担当：麻生祥代 aso@ermjp.com



マツダ株式会社
URL



村上アーカイブス
URL

会員様ご紹介

林 良司様

株式会社尾道新聞社
記者

MAZDA車のある 尾道風景「郷愁編」

キャロルとシネマしよう

活動報告

「デジタル化の推進」及び「分散化の推進」

ディーラー紹介

アンフィニ広島 東尾道店
サービス担当 係長
平川 祐さん
広島マツダ 尾道山波店
販売グループ 係長
石田 晃久さん



会員様の笑顔をつくりたい
— 尾道郷心会 —

尾道郷心会URL



【尾道郷心会・会員様紹介】 林良司様

株式会社 尾道新聞社
記者

マツダの「飽くなき挑戦」の象徴ともいえるロータリーエンジン(R.E)を積んだ最後のモデルRX-8(2002年11月現在。R.Eに対する熱い想いを聞かせて頂けるのだろうかとの予想を裏切り、林さんから出たのは「僕にとつてエイトの魅力はR.Eよりもデザインなんです」という言葉でした。林さんは、昭和の男の子を熱狂させたスーパーカーブームの後の生まれですが、洗練されたデザインのスーパーカーミニカーを集めては「カッコいい」と眺める少年だったそうです。



姿に目ぼかれて程なく、理想の一台を探し出し、このRX-8が人生初の愛車となったのです。「この顔が好きです。スーパーカーのガルウィングに通じるような観音開きのドアも、高級な欧州車のようなスタイリッシュなデザイン。コンパクトカーみたいなカッコよさなのに、4人乗りで実用性もある。買い物などの日常使いも出来るクルマの中に、これほどのセンスが詰め込まれているなんて、全てが最高なんです！」記者としてのお仕事柄、普段は博識で冷静に見える林さんの口から、弾むような声で、愛車への特別な思いがあふれ出しました。「カーオプザイヤーも受賞するよんな素晴らしいクルマが、広島という「当道」から生み出されたことは本当に誇らしいことです」



尾道新聞社社内での作業風景

明治以来続いてきた国内でも最古級の歴史を持つ地域紙の歴史を繋いでいく為、世の中が平成から令和に代わるタイミングで誕生した尾道新聞さん。

「尾道の文化を守った尾道商人」の熱い想いを一身に受け「この火を消してはならぬ」という尾道の人々が動かれての尾道新聞の誕生は大きな話題となりました。「尾道は、変わらないまらではなく、変わり続けている街です。ちよつとした日常風景から国宝のある歴史的風景まで、その「こつた」意欲や多様性・重層性、生きた人が暮らしている街の有様をこれからも伝えて行きたい」世の中のデジタル化の大きな波の中でも、昔ながらの「アナログの日記紙」であることに「こだわり続け、地域のコミュニティ紙ならではの話題を発信し続けておられます。時代の変化の中で守り続けて行くもの、変化の中で「尾道が尾道たる姿を保ち続けている事」：マツダのクルマ作りの志にも共通するよんなお話しに、なぜ林さんがこの一台に惚れ込まれたかの理由も納得してしまいました。

生まれも育ちも尾道の旧市街地で、いわゆる生粋の「尾道っ子」的林さん。「細い道の入り組むこの街では、仕事も生活も自転車があれば十分だったんです」尾道に拠点を置く仕事に就かれた林さんが、クルマを所有されたのも他の人より随分遅かったそうです。ある日、街で見掛けたガンメタのRX-8。まるでヨーロッパ車かのような、エレガントなセクシーさを持つエイト…それは完全に、少年の頃からの憧れの心をくすぐるものだったんです！その



MAZDA車のある 尾道風景

「尾道郷愁編」 キャラルとシネマしよう

尾道へキャラルが遊びに来てくれました。青と白のツートンカラーが、まるで尾道の海沿い風景とお揃いで。ピタリの相性ですね。「映画のまち尾道」でレトロしましよ、シネマしましよ、いつか来た尾道で…



キャラルでシネママップ



尾道郷心会
随時更新中

株式会社 尾道新聞社



株式会社
尾道新聞社 URL

尾道市土堂2丁目10-3
尾道商工会議所ビル3階9号
TEL (0848) 23-2288
FAX (0848) 23-2289
MAIL: news@omnp.jp

地域の日刊紙『尾道新聞』

- ◇平成31年(2019)2月1日創刊
- ◇取材・販売エリア: 御調・尾道・向島・因島・瀬戸田の尾道市全域
- ◇新聞サイズ: タブロイド版4頁(一部カラー)
- ◇発刊: 火曜日から日曜日の朝刊
- ◇料金: 2,980円/月(税込)



尾道新聞社様
公式
フェイスブック